レッスンガイド

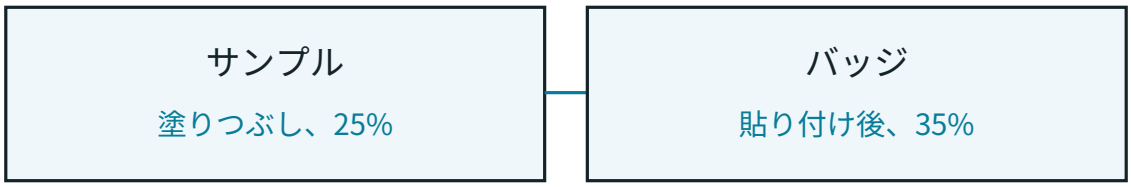
レイヤー間で設定をコピー

加工設定を別のレイヤーにコピーし、個別に一つ調整します。

このガイドはAIで翻訳されています。重要な手順は英語の原文と照合してください。

未接続でのソフトウェア練習

機械なしを選択したまま、未接続の状態を保ちます。プロジェクトには機械プロファイルがありません。ソフトウェアのプレビューに必要な箇所では出力が有効になっています。例の値は素材設定ではありません。各レッスンパックは専用のフォルダーに保管してください。



デモ: Sampleの設定を一度コピーします。その後Badgeを編集しても、レイヤーはリンクされません。

1. このレッスンを専用のフォルダーに展開します。**settings-start.lzrproj**を開きます。Badgeは、線、600 mm/min、40%、一回のパスで始まります。

2. **Sample**を選択します。塗りつぶし、**1200 mm/min、25%、二回のパス、1 mm**の間隔を使用しています。Layersの上部にある**レイヤー設定をコピー**をクリックします。

3. **Badge**を選択し、**レイヤー設定を貼り付け**をクリックします。これにより加工設定が置き換わりますが、名前、色、アートワークはそのままです。

4. Badgeがコピーした塗りつぶしの値を使用していることを確認します。**Badgeのパワーだけを35%に変更**します。Sampleを選択し、25%のままであることを確認します。

5. 移動表示をオフにして最後へ移動し、プレビューします。両方の図形が塗りつぶされ、アートワークの重複や移動はないはずです。

6. 別のコピーを保存し、**settings-finished.lzrproj**と比較します。

個別練習

個別練習

このレッスンのフォルダーにある**settings-practice.lzrproj**を開きます。Sampleの設定をBadgeにコピーし、Badgeのパワーだけを**20%**に変更します。Sampleは**30%**のままにします。

□ 両方のレイヤーは、塗りつぶし、900 mm/min、二回のパス、1.5 mmの間隔で終了するはずです。

□ 各レイヤーの名前、色、オブジェクトの所属を維持します。いずれの図形も移動または複製しないでください。

□ 別のコピーを保存し、settings-practice-answer.lzrprojと比較します。

「レイヤー設定を貼り付け」をクリックするとき、どのレイヤーを選択しておくべきですか？

貼り付け後にBadgeを編集した場合、Sampleも変更されますか？

貼り付け先の設定を置き換えた後、どの値を確認する必要がありますか？

解説付きの回答

解説付きの回答

練習の回答
Sample: 塗りつぶし、900 mm/min、30%、二回のパス、1.5 mmの間隔。Badge: パワーが20%である点を除き、同じ設定。

デモの回答
Sampleは25%のまま、Badgeは35%です。両方とも塗りつぶし、1200 mm/min、二回のパス、1 mmの間隔を使用します。

コピーは独立しています
貼り付けにより、選択した貼り付け先の加工設定が置き換わります。アートワークを複製したり、リアルタイムのリンクを作成したりすることはありません。後でモード、両方の出力コントロール、すべての値を確認してください。

settings-start.lzrproj
デモ用スターター: Sampleに楕円、Badgeに長方形。

settings-finished.lzrproj
Badgeを個別に35%へ変更したデモの回答。

settings-practice.lzrproj
個別練習用スターター: Sampleに長方形、Badgeに楕円。

settings-practice-answer.lzrproj
Sampleが30%、Badgeが20%の個別練習の回答。

このパックには、速度レッスンと同じ汎用設定ファイル名があります。二つのパックは別々のフォルダーに保管してください。提供された各ネイティブコピーには、それぞれ固有のプロジェクトIDがあります。

Beam Bench 0.2.37で示したインターフェースに対応しています。後のバージョンではパネルレイアウトが異なる場合があります。